

天候豫報 今後は南東の風盛 雨降模様 明日は南西の風盛

閑談夜話(三) 平華生

河童の川流れ、猿も木か 途半端生意氣盛のものに多...

秘密小天狗 中川雨之氏作 近藤 誠氏譯

小夜美は、身動きもしな かった。 群衆は、初めて沈黙か...

賀草野君昇任 憲兵軍曹

賀草野君は、憲兵軍曹に 昇任された。...

平岡俳句會 (四月旬會)

○ふらこの影長々庭くさる 夜詩女 白砂

都築益世

川原の小石を こんでゆく



氣の無いものは無からう。 その上、忠彌は、只何となく、俊作が好きになつた...

重田眼科 診療開始(十日ヨリ) 眼鏡一般 醫師重田景治

耳鼻咽喉科専門 レントゲン科 高柳醫院

通勤女店員募集 高等小學卒業程度 市内居住の方

平牛乳舎 第一質品 香八六二話電

北川外科 血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

大和田醫院 耳鼻科専門 平市南町一六番地

日本石油株式會社特約店 福島縣平市一丁目(電話六一一)

開内藥局 吸入用酸素 喉痛 喉炎

お節句飾りの! 値下げに 謹告 正札賣に付

天井板、ベニヤ板買ふなら 確かに御期待に添ふ良品廉價の 刃織田材木商店

平病院 (平市元共済病院) 院長 醫學博士 鈴木定藏

高島屋の洋服 男女學生服特賣 新柄背廣

比佐棟雄 私はずり身で、すから特に郷里の 皆様方の爲めに御便宜を圖ります

花柳病科 午後午後診 井坂醫院 平市南町(元合済病院)

千五百圓ラツシュ

來月平局や市内各郵便局で賣出す
割増金附貯蓄債券

未だ海防の朝まだきから平局と市内各銀行支店前に三千圓ラツシュの放列
布陣は明らか、微笑ましい國民貯蓄風景である。

△額面十五圓(賣出価格十圓)△償還昭和三十三年十月一日(廿年四ヶ月)△
抽籤期日毎年三月、九月の二回△割増金一等一千五百圓、初回四十個、

護り健康で
お産者、産婆さんも乗出す
けつ週間第一日

護り健康で お産者、産婆さんも乗出す
けつ週間第一日

第一日に千三百圓
公會堂寄附金募集

公會堂寄附金募集
物價騰貴から豫算に不足を千三百圓であつた
生じた公會堂のため市當局

海の若武者(六名採)
永遠の平和確立上
一層の努力が必要

過般第三小学校で行はれた時から夏井村水守社で執行
海軍志願兵検査の結果平市
から左の六名が採用と決定

永年勤続者
工場協会で表彰

工場協会で表彰
十五日本署會議室で工場協
會支部から表彰された永
年勤続者(男二〇六、女三
四)中二十ヶ年以上のもの
左の如し

片倉會社社務課 木村 武
九日馬場宅附近で名譽的職
死を遂げた田人組合村垣田
正午から同小学校で執行す

初夏の旅先から
塾中見學團第二報

塾中見學團第二報
庭床午六時のはやであつた。

庭床午六時のはやであつた。
皆が大抵四時頃に立つてありませう。

皆が大抵四時頃に立つてありませう。
境内は位でした。天主閣の頂上より

來日曜對戰(湯本)
山野球部張り込む

來日曜對戰(湯本)
山野球部張り込む
湯本(工費三萬圓)石住
村地内御所(同三萬)日夜

斯んなこともあり記
小名濱商港後日物語

斯んなこともあり記
小名濱商港後日物語
赤井 嶽 男

白衣を捨て
矢吹敏夫君

白衣を捨て
矢吹敏夫君
市内下平窪出身
野生聖の途に出発する

初夏の旅先から
塾中見學團第二報

初夏の旅先から
塾中見學團第二報
庭床午六時のはやであつた。

庭床午六時のはやであつた。
皆が大抵四時頃に立つてありませう。

庭床午六時のはやであつた。
皆が大抵四時頃に立つてありませう。

皆が大抵四時頃に立つてありませう。
境内は位でした。天主閣の頂上より

境内は位でした。天主閣の頂上より
久助氏死亡による後任者選

久助氏死亡による後任者選
決定する。

決定する。
入道野村大平矢代

入道野村大平矢代
喜一氏所有の牛馬(五頭)は

喜一氏所有の牛馬(五頭)は
傳賃と決定、救済分

眼鏡
最新式
各製
價目
目録

サロシ
日本姓名學會東北支部長
平市紺屋町 三六

精神科
福島縣立代用精神病院
郡山市外大槻村針生

福島縣立代用精神病院
郡山市外大槻村針生
電話 九二五